

「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会について」

公益財団法人 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

事務局次長 猪股 康博

Aichi-Nagoya 2026



アジア競技大会とは

◎OCAが主催するアジア地域最大の総合スポーツイベント

アジア競技大会は、第二次世界大戦後まだ間もない1951年、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、恒久平和に寄与したいとの願いを含め、日本を含む11か国の参加の下、第1回大会をニューデリーで開催。原則4年ごとに開催。

アジアパラ競技大会とは

◎APCが主催するアジア地域のパラスポーツの総合競技大会

アジアパラ競技大会は、1975年に日本の呼びかけにより極東・南太平洋地域の身体障がい者のスポーツ大会（フェスピック競技大会）として第1回大会を大分で開催、第9回大会後、「アジアパラ競技大会」として引き継がれ、原則4年ごとに開催。

両大会概要

	第20回アジア競技大会	第5回アジアパラ競技大会
大会期間	2026年9月19日（土）～10月4日（日） （16日間）	2026年10月18日（日）～24日（土） （7日間）
参加国数 【参考：東京オリ・パラ】	45の国と地域 【206の国と地域】	45の国と地域 【161の国と地域】
実施競技数 【参考：東京オリ・パラ】	41競技 【33競技】	18競技 【22競技】
参加者数 選手団（選手・チーム役員）	最大15,000人	3,600～4,000人
メイン会場	名古屋市瑞穂公園陸上競技場	名古屋市瑞穂公園陸上競技場
開催状況	32年ぶり3度目	初開催

アジア競技大会



ホノホン
HONOHON



IMAGINE ONE ASIA
ここで、ひとつに。

アジアパラ競技大会



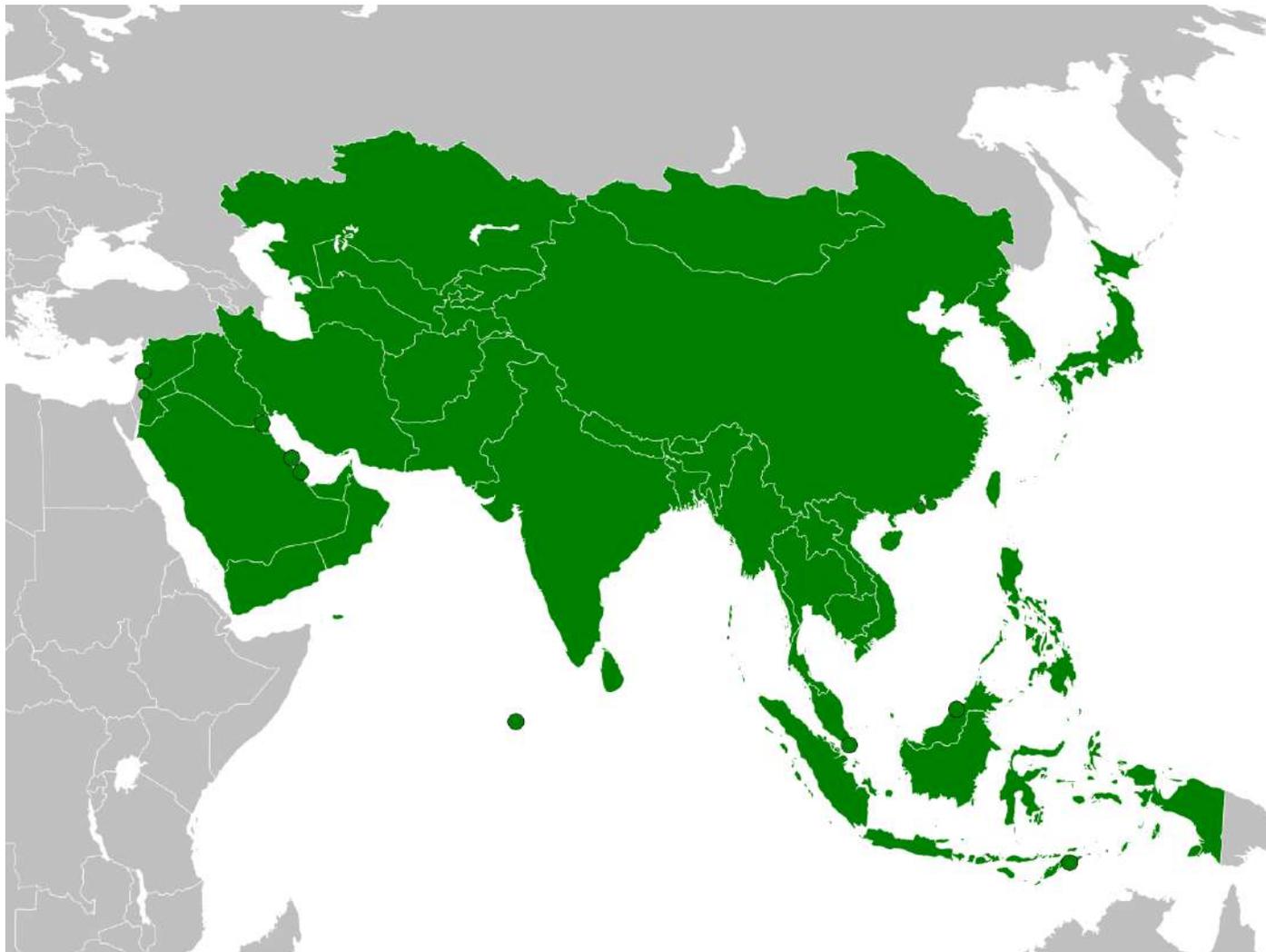
5th Asian Para Games
Aichi-Nagoya 2026

IMAGINE ONE HEART
こころを、ひとつに。



ウズミン
UZUMIN

参加国・地域



東アジア

1. 中華人民共和国 CHN
2. 朝鮮民主主義人民共和国 PRK
3. ホンコン・チャイナ HKG
4. 日本 JPN
5. 大韓民国 KOR
6. マカオ MAC
7. モンゴル MGL
8. チャイニーズ・タイペイ TPE

東南アジア

9. ブルネイ・ダルサラーム BRU
10. ミャンマー MYA
11. インドネシア INA
12. ラオス人民民主共和国 LAO
13. マレーシア MAS
14. フィリピン PHI
15. シンガポール SIN
16. タイ THA
17. ベトナム VIE
18. カンボジア CAM
19. 東ティモール TLS

南アジア

20. アフガニスタン AFG
21. バングラデシュ BAN
22. ブータン BHU
23. インド IND
24. モルディブ MDV
25. ネパール NPL
26. パキスタン PAK
27. スリランカ SRI

中央アジア

28. カザフスタン KAZ
29. キルギス KGZ
30. タジキスタン TJK
31. トルクメニスタン TKM
32. ウズベキスタン UZB

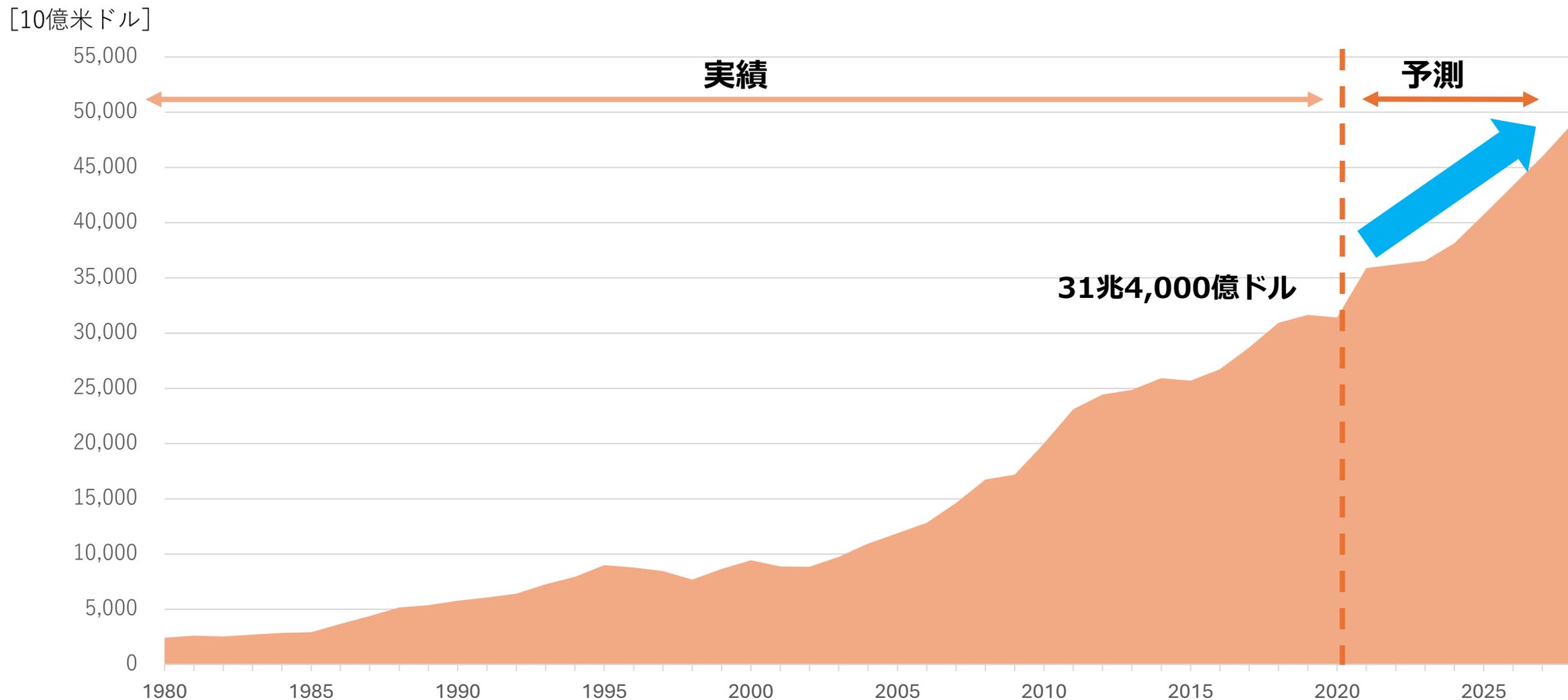
西アジア

33. バーレーン BRN
34. イラン・イスラム共和国 IRI
35. イラク IRQ
36. ヨルダン JOR
37. クウェート KUW
38. レバノン LIB
39. オマーン OMA
40. パレスチナ PLE
41. カタール QAT
42. サウジアラビア KSA
43. シリア・アラブ共和国 SYR
44. アラブ首長国連邦 UAE
45. イエメン YEM

45か国・地域

地域活性化の効果

アジアの国・地域のGDP総額の推移・予測



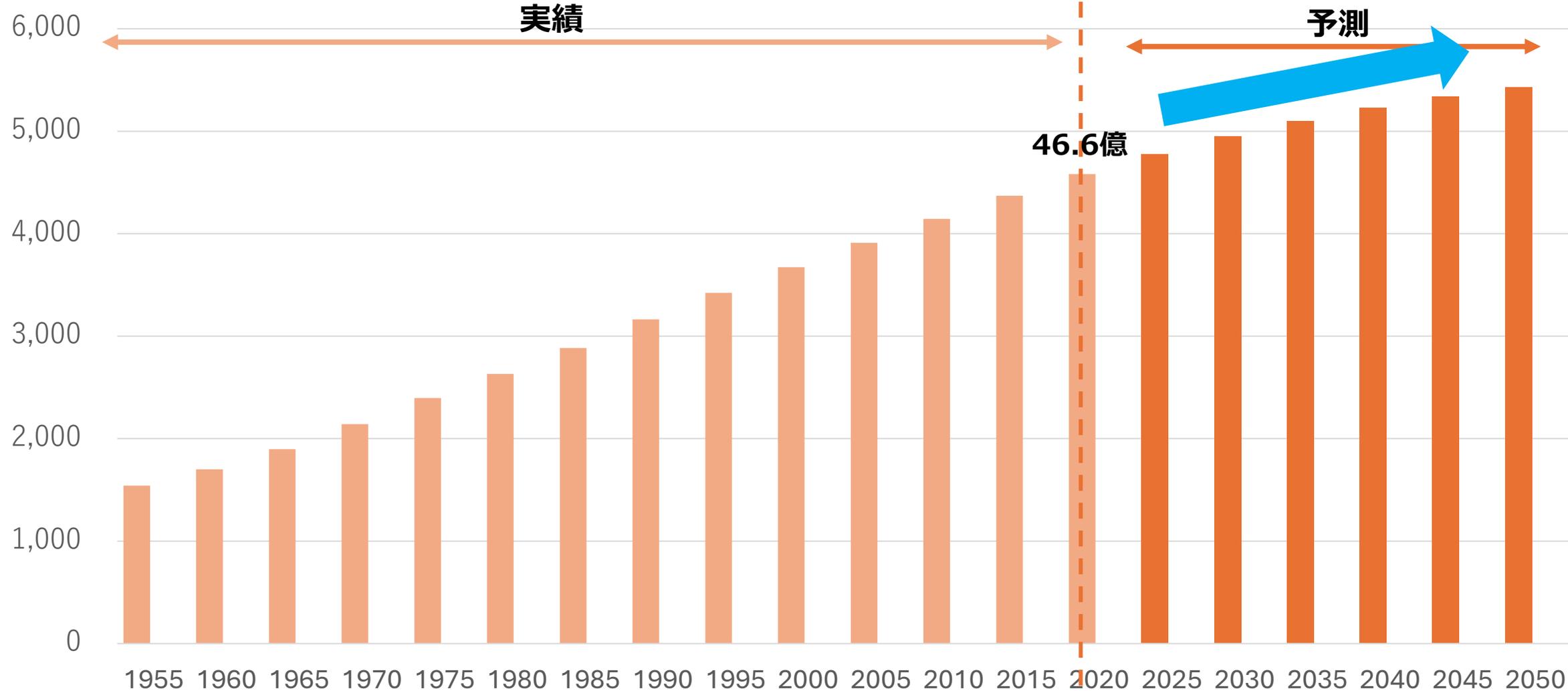
【出典】 International Monetary Fund (IMF) World Economic Outlook 2023 (アジア43国・地域)

Aichi-Nagoya 2026

地域活性化の効果

アジアの国・地域の総人口の推移・予測

[単位：100万人]



Aichi-Nagoya 2026

【出典】国連World Population Prospects 2022年版（アジア51国・地域）

大会開催意義

- トップアスリートの交流
- アスリートの飛躍の場
- アスリートの競技力向上
- スポーツを楽しむ文化の普及
- 有観客 スポーツの魅力の体感
- 子ども達のおこがれ・目標
- 今後の国際大会の開催
- 国際的な友情と平和の促進
- アジアとの交流
- サステナブル・既存施設活用
- 新たな大会運営モデル
- 障害への理解促進
- 障害のある方の社会参加の促進
- 共生社会の実現・社会変容
- 地域活性化
- 国際競争力強化
- 旅行者及び観光消費支出の増
- 販路拡大など

既存施設の活用

競技会場は、様々な大会実施で蓄積された実績のある愛知・名古屋に集積する**既存のスポーツ施設の活用**を中心に展開し、必要に応じて仮設施設での対応とすることで、大会開催時及び開催後における経費の低減を図り**サステナブルな大会運営モデル**とします。

【状況の変化】

- 東京オリンピック・パラリンピックの贈収賄や入札談合事案の発生
- 円安
- 物価上昇、賃金上昇

【組織委員会の対応】

- 選手村整備の取りやめ
▶ 既存施設の有効活用
- 水泳競技会場、馬術競技会場について東京都内の会場へ変更
▶ 既存施設活用の徹底



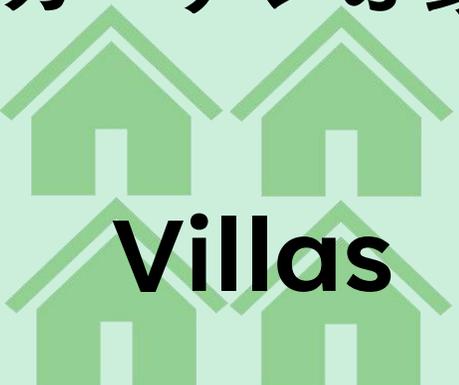
Aichi Sky Expo



名古屋市総合体育館

宿泊関連

ガーデンふ頭

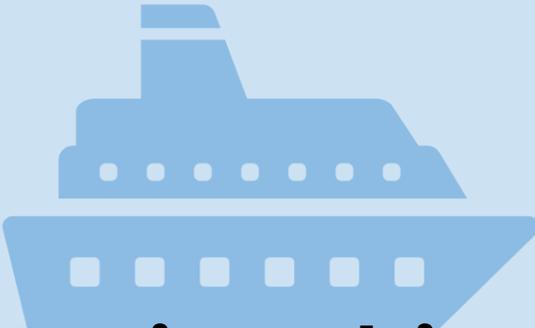


Villas

Athletes' Plaza



金城ふ頭



Cruise ship

選手団
オフィス

選手団
サービスセンター

選手間交流
ゾーン









◆ 愛知・名古屋発「三本柱の宿泊戦略」

- ① 『既存ホテル等』 ➔ 充実した宿泊機能を活用・発展
- ② 『ホテルシップ』 ➔ 一時的な大量需要の宿泊に対応する新しいモデルの創出
- ③ 『移動式宿泊施設』 ➔ 循環型資源で対応

◆ 一時的な大量需要の宿泊に対応する新しいモデルの創出

- ・ 国土交通省によるガイドライン作成以来、初の実施
- ・ 名古屋港 金城ふ頭という港湾機能を活用
- ・ あおなみ線や高速道路によるアクセスの利便性
- ・ 4,000人規模の大規模な宿泊を海上で柔軟に確保

◆ 一時需要を循環資源で対応

- ・ リース品の活用による資材や廃棄物の削減
- ・ 大会後は再利用可能（災害・観光需要への対応等）
- ・ 事前防災としての取組促進
- ・ アクセシビリティの高い新たなモデル開発による共生社会の実現

◆ 新たなスタンダードへの挑戦

- ・ ホテル等、クルーズ船、移動宿泊施設の前例のない組み合わせによる新たな循環型の宿泊モデルの構築
- ・ 大会後もそれを活かし、今後のレガシーとして更なる発展へ

『建てる』から『活かす』へ

— 次世代の国際大会・大規模イベントに向けた世界への提案

共生社会の実現

障がいへの理解促進や障害のある方の社会参加の促進に大きな役割を果たし、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献します。

インクルーシブな地域づくり



アクセシビリティ・ガイドライン作成

- 競技会場・公共交通の通路幅
- 競技会場施設のアクセシブルな座席
- 車いす使用者トイレの設置数と割合
- ホテル及びその他の宿泊施設
- 大会に関する情報発信
- 大会スタッフ等に対する
アクセシビリティ研修（抜粋）



共生社会への変容を促進する事業

開催都市（県・名古屋市）が、アジア・アジアパラ競技大会を機に下記の事業等を創設

- ・ 競技場やその動線のバリアフリー化事業
- ・ パラアスリートの学校訪問事業

名古屋市瑞穂公園陸上競技場

2026年3月竣工予定

競技：陸上競技（トラック&フィールド、マラソン）
（アジア・アジアパラ）

延床面積：約63,500m²

観客席数：約30,000席



©株式会社瑞穂LOOP-PFI ※画像はイメージです。

愛知国際アリーナ [IGアリーナ]

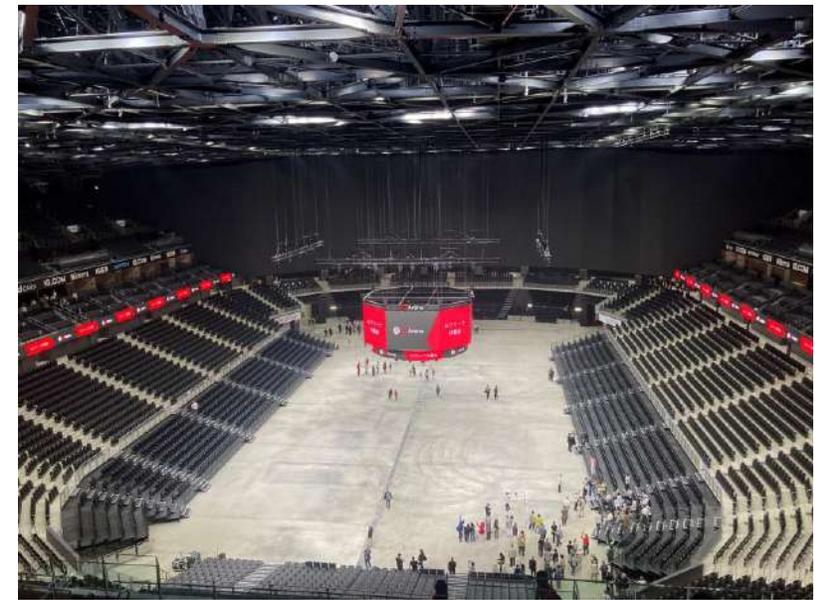
2025年7月オープン

競技：柔道、バスケットボール（アジア）

車いすバスケットボール（アジアパラ）

延床面積：約63,000m²

観客席数：約15,000席



名古屋市東山公園テニスセンター



2026年3月竣工予定

競技：

テニス/テニス、ソフトテニス（アジア）

車いすテニス（アジアパラ）

名古屋競輪場



2025年8月30日竣工

競技：自転車競技/BMXレース（アジア）

アジア大会の特徴的な競技

コンバットスポーツ・
柔術(西アジア)



コンバットスポーツ・
クラッシュ(中央アジア)



カバディ
(南アジア)



セパタクロー(東南アジア)



武術太極拳(東アジア)



クリケット

地域活性化の効果

インバウンド観光の振興

- ・ PRと併せた愛知・名古屋（中部圏）の魅力発信、広域観光の推進
- ・ たくさんの外国人観光客に向けた食文化の発信及び案内機能・多言語対応の充実
- ・ 観光展への出展やプロモーションツールの作成 等

スポーツツーリズムの推進

- ・ アジアからの来訪者向けのツアー造成
- ・ 「あいちスポーツコミッションや名古屋スポーツコミッション等の活用や観戦型・参加型の**スポーツツーリズムの定着**
- ・ 両大会の開催を契機に、継続して大規模競技大会・イベントの誘致・開催⇒**都市ブランドの向上や都市活力を活性化**

文化の発信

- ・ 愛知の文化、芸術、コンテンツに対する関心度UP
- ・ 文化芸術イベントの展開
- ・ 産業観光・歴史観光の推進



Aichi-Nagoya 2026

公認文化プログラム
Aichi-Nagoya 2026

皆さんのイベントが、
愛知・名古屋2026大会の応援になる!

アジア、日本、愛知・名古屋の魅力を発信

Aichi-Nagoya 2026
公認文化プログラム

共に、愛知・名古屋2026大会を盛り上げていきませんか?

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

The poster features a collage of circular images: a person playing a violin, fireworks, a person playing a drum, a person making green tea, and a person arranging flowers. The background is a light purple with a subtle pattern of blue and white circles.

⇐ ↑ **公認文化プログラム**

応援IDについて

第20回 アジア競技大会 第5回 アジアパラ競技大会

愛知・名古屋が すごいことになる。

2026年あなたはすごいイベントを目撃する。アジア45億人の頂点を決めるこの祭典。競技数59を数える世界最大級のスポーツイベントがついにやってくる。32年ぶりの日本開催となるアジア競技大会と日本初となるアジアパラ競技大会は時代を動かす興奮を私達にもたらす。さあ声援を送り、ともにレガシーを体感し、そして見渡す世界を変えにいこう！

世界を変えよう、応援で。

応援ID 2025年10月20日 登録開始
応援IDを通じて、大会情報やチケット販売スケジュールなどをご提供いたします。ぜひID登録を。

Aichi-Nagoya 2026

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

- 大会に関わる皆様と「応援」をテーマにひとつになり、出場選手の応援や大会を盛り上げるための愛知・名古屋2026大会オリジナルIDです。
- 「応援ID」をご登録いただいた方には、競技情報（出場選手やみどころ等）、各種イベント情報やグッズ情報等、大会開催に向けた期間もお楽しみいただける情報が届きます。
- 愛知・名古屋2026大会観戦チケットの購入手続きには、「応援ID」の登録が必要です。

➡ 登録受付中です！ぜひ、ご登録をお願いします！

・ 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)公式チケット情報サイト



・ 第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)公式チケット情報サイト



ご清聴ありがとうございました

Aichi-Nagoya 2026

2025/11/28